

平成 19・20 年度 JSL カリキュラム実践支援事業実施報告書【授業実践】

実施団体名 【 姫路市教育委員会 】

1 学習活動の実際

(1) 学習指導要領での指導学年と領域 第3学年 (C 読むこと)	
(2) 単元名 いろいろなお祭りについて調べよう「つな引きのお祭り」	
(3) 対象児童の実態 (1人)	
A 児	第3学年 国籍(ベトナム) 母語(ベトナム語) 在籍年数(1年3か月)
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の力 日常会話はある程度できる。読み書きも何とかできるが、十分ではない。 ・在籍学級での学習参加の様子 音読練習には進んで参加し、分かれ書きに従ってはつきり読める。読める漢字が増えてきている。 ・学習環境 家庭での学習を丁寧にする。日本語を理解できる家族がいて、教えてもらうことができる。
(4) 目標	
◇【教科指導の目標】	
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの町の綱引きの様子について読み取ることができる。 	
◆【日本語指導の目標】	
<ul style="list-style-type: none"> ・「～県 ～市 ～」という地名の言い方に慣れ、使うことができる。 ・それぞれの祭りについて、「いつ」「どこで」「だれが」「どんな祭りか」を探することができる。 	

2 学習活動

指導者（日本語指導担当教員） 日本語指導支援者（なし）			
全体の時間数（10 時間）			
学習活動の状況、指導内容	活動方法	指導上の留意点	有効だった指導等 ◇教科指導について ◆日本語指導について
<p>①「祭り」について知っていることを言う。</p> <p>②最初の写真を見て、何の写真か考える。</p> <p>③写真のスライドを見ながら、全文を聞く。</p> <p>④3つの町の名前を答える。</p> <p>ワークシートに書き込む。</p>	取り出し	<ul style="list-style-type: none"> ・現在習得している語彙を使って説明するように促す。難しい場合は、教師が補足して文にする。 ・教科書の最初の写真をスクリーンに映して見せる。 ・「大きい」だけではなく、何と比べて大きいとも言わせる。 ・各町のお祭りについてそれぞれの町の写真を見ながら聞かせる。 ・「～県～市～」に注意して聞かせる。 ・「～ 県 ～市～」と続けて言うようにする。 ・それぞれの県を日本地図で確認する。 ・自分が住んでいるところの地名も言えるようにする。 	<p>◇「祭り」を知っていますか。 はい、知っています。 (いいえ、知りません。)</p> <p>◆「祭り」で知っていることを言いましょう。</p> <p>◇今日は、色々な町のお祭りの勉強をします。</p> <p>◇これは何の写真でしょう。</p> <p>◆写真を見て気づいたことや思ったことを言いましょう。 大きな綱があります。 人より大きいです。</p> <p>◆今から教科書の文を読みます。 「～県 ～市～」という言葉が出て来ます。何回出てくるか数えながら聞きましょう。</p> <p>◆「～県 ～市～」が何回出て来ましたか。</p> <p>◆「～県 ～市～」というのは町の名前です。 それを「地名」と言います。</p> <p>◆3つの地名を言いましょう。</p> <p>◇あなたが住んでいるところの地名は何ですか。</p> <p>◇次の時間は、3つの町の「つな引きのお祭り」はどんなお祭りかを読みましょう。</p>

3 成果

① 対象児童に対する成果

教科書に載っている写真のスライドを見ながら聞いたり考えたりすることで、文字だけでは意味のわからなかった言葉の意味をつかむことができた。また、今までは自分で読もうとしなかった長文を意欲的に読み進めることができた。

4 課題

○ 多くの語彙の中からどれを取捨選択するかが難しかった。児童の日本語の力に合わせて「いつ」「どこ」「だれ」「どのように」つな引きをするのかに焦点を絞って学習したが、詳しい内容についても日本語の力に合わせて学習を広げていかなければならない。